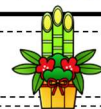


2023年 あけましてあめでございます



新年明けましておめでとうございます。社会福祉法人大生福祉会大生信夫の里は、令和4年12月に創業5周年を迎え6年目に入りました。関係者の皆様、地域の皆様のおかげです。御礼申し上げます。

この5年間を簡単に振り返りますと、事業としては創業当初からのグループホーム、就労継続支援B型に加えて、「放課後等デイサービスたいせいジャングルム」と「生活介護事業所 大生信夫の里」をオープンさせました。大生信夫の里の骨格が出来上がったと言えます。これからはこれらの4事業にしっかりと肉付けを行い、地域の皆様に信頼される運営をしていきたいと思えます。

また世情としては、3年間も続く新型コロナウイルス感染症や昨年からのウクライナ戦争という歓迎できないニュースがあり、それに引き続く物価高や燃料費高騰など暮らしを直撃しています。経営にも少なからず影響はあります。それでも明るい未来を信じて進んでいきたいと思えます。さらにこのところ、高齢者や障がい児・者への虐待ニュースに触れることが多くなりました。やるせない気持ちになりますが、法人としても虐待防止の取組を地道にそして絶え間なく続けていきます。この5年間での貴重な経験と反省を踏まえ、次のステージに入っていきたいと思えます。

関係者の皆様の更なるご指導、ご支援をお願いして、新年の挨拶といたします。

理事長 根本 光雄

2022年はコロナを最も身近に感じることになった一年でした。私自身もコロナに感染し、感染力の強さに脅威を感じたものです。そんなwithコロナの時代ですが、利用者様の元気な挨拶と明るい笑顔から、私たち職員も元気をもらい張り切って仕事することができました。改めまして感謝申し上げます。

さて、2023年の干支はウサギです！ぴょんぴょんはねるウサギのように、一年を通してちょっとずつ飛躍を繰り返すことができれば、年末には大きく成長した姿をみせることが出来るはず！いろいろな活動を通して、こだわりを大切にしながらも、新しいことに挑戦して飛躍していけるように頑張りたいと思えます！！

施設長・就労B管理者 出口 美和



「戦」が今年の漢字であるとのこと。

振り返れば公私ともに漢字に象徴された一年であったように思います。当事業所においても新型コロナウイルスの対応に追われ、度重なる生活制限を強いられている利用者様の心労は察するに余りある日々が続いております。そんな情勢の中でも豊かな生活を目指し僅かにできた余暇活動の中で、利用者様の笑顔に触れ充実を感じられたことが励みになっているところです。

さて令和5年。兎にも角にも「利用者様の安定した地域生活と定着、仲間と過ごす豊かでよりよい生活」の実現に不変なく守株待兎なく邁進したいと考えております。未だ戦況が見えない「戦」に不安を感じながらも、互いに境なく顔を合わせ平穏な日常に戻れる年であって欲しいと切に願っております。

副施設長・グループホーム管理者 伊藤 満



皆様には、ご機嫌よく新しい年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみて、まだまだ終息への道のりが遠い新型コロナウイルス禍や世の中の移り変わりは別として、自分は精一杯出来ることをしたのだから満足と思いたいですね。でも保育者として欲がありますから、あれもしたかった……。こうすればよかった、などと後悔ばかりです。しかし、子どもたちはあれも出来るようになった、これも！と生き生きと親御様に報告して大満足ではないでしょうか。と思うのは私ばかり。本当に日々成長していく子どもの可愛さに、つい余計な手出し口出しをして、自立を妨げないようにしたいものです。

今年も引き続き、小学1年生からたいせいジャンダルムをお預かりする中で、方針でもあります一人ひとりの個性を大切にしたい支援、そして地域に根差したたいせいジャンダルムを目指し、保育者一同力を合わせ新たな気持ちで頑張っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

放課後等デイサービス管理者：池田 仁子



生活介護の活動場所が現在の場所に移り約一年が経過しました。環境の変化という点では心配な面もありましたが、皆さん徐々に慣れていき毎日元気に活動しています。2022年、中々収束が見えないコロナ禍ではありますが、生活介護では感染対策をしつつ、利用者の皆さんと一緒にお出かけや季節の行事等、様々なイベントを実施してきました。一つひとつの活動を重ねていく毎に、利用者さん達の変化や成長が感じられ嬉しく思うと共に、一人ひとりに合った支援ができてきているのか……。ニーズに合ったサービスを提供できているのか……。日々考えるところもあります。

2023年、春には支援学校からの卒業生を新メンバーに迎える予定です。人と人との関わりを通し、仲間と過ごす時間、お仕事に取り組む時間、社会生活を送る時間等様々な時間を大切に、利用者の皆さんと安心・安全に過ごしていきたいと思っています。今年も一年宜しくよろしくお願いいたします。

生活介護サービス管理責任者：佐藤 沙織



～生活介護 新たな取り組みへ～

① 請負（部品組立）

12月より請負（部品組立）作業に参加しています。就労Bと同じ作業を行うことで、就労意欲と工賃向上につなげていきたいです。



② 製作品販売を見据えて

数カ月間、活動にもお仕事にも消極的で居眠りも多かったKさん……。

じっくりと寄り添い個別支援を行っていたある日、「キラキラ」「かわいい」ものに興味を示すことに気づいた職員。一緒にクリスマスツリーキーホルダーの製作を始めたところ、とても楽しそうに笑うKさんが見られたそうです。「今日もやりたい！」と活動に積極的になり、居眠りもなくなったそうです。

クリスマスには、Kさんの作ったキーホルダーが職員へプレゼントとして配られました。Kさんの変化をきっかけに、生活介護でも活動の中で製作した商品を取売していけたらと考えています。ひとりひとりがもつ唯一無二の感性と自主性を大切にしながら、いきいきと過ごせる事業所にしていきたいと思っております。

利用者様募集中です！是非見学にお越し下さい！



12/19 福島市役所ロビーでの販売会に参加し、利用者さん2名が接客を担当しました。

編集後記：今年は誌面を通して、利用者さんの「声」をたくさんお届けしたいと思います。個人としては、常に自己研鑽に励み、公私ともにささやかでも彩のある毎日を過ごしていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

法人本部 木戸